

Hekikai Report

地域金融機関として
伝えるビジネスの
“今”と“これから”

〈企画・編集〉
碧海信用金庫
経営企画部 企画グループ
<https://www.hekishin.jp/>



● 企業訪問 地域の躍動企業

株式会社東海機械製作所
代表取締役社長 近藤 盛仁 氏

● 特集 「どうする家康」で注目のエリア!

～愛知県西三河で家康ゆかりのスポットめぐり・西尾市編～

● Pickup! チャレンジ企業

元気でんき株式会社

● お役立ちコラム 知っておきたい税情報

消費税のインボイス制度③ (小規模事業者等の負担軽減措置)

● Topics 地元しんきんが推薦する東海「地域の宝物」ガイド

● SDGsレポート vol.13 (2023年1月～3月)

● 地域の景気動向 2023年3月調査

企業訪問

地域の躍動企業



SPECIAL INTERVIEW

美合支店お取引先

株式会社東海機械製作所

代表取締役社長 近藤 盛仁 氏

70年余の永きにわたり、その技術力の高さを武器に各種業界のものづくりに貢献し続けている株式会社東海機械製作所。世の中の変化を敏感に察知し、新たな技術やシステムを積極的に取り入れることで、事業の拡大だけでなく製造現場の課題解決にも尽力してきました。柔軟さとバランス感覚をモットーに、更なる進化を目指す近藤社長にお話を伺いました。

一貫体制で高効率化を 海外展開で 生産能力強化を実現

—創業からの歩みと主な事業内容について教えてください。

溶接技術に秀でていた祖父は、その技術力を請われて中国・青島で機械の修理などを行っていました。終戦後、繊維業の盛んだった岡崎へ移り「東海溶接工業所」を創立したのが弊社の始まりです。織機などの機械加工にも取り組むようになった頃、日本を代表する重工業メーカーとのお縁をいただいて船舶機械などの大型鋼構造品加工を手掛けるようになりました。

また自動車産業の盛りあがりに伴い、やはり大手企業からお声がけをいただいて工作機械の部品製造にも着手、組立もというニーズにお応えして、ベースユニットの製造から組立までを行うようになりました。さらに「組立ができるようになったのだから…」と設計部門を設け、1987年には自社ブランド「U-tec」を立ち上げ、自動車内装部品の成形など、大型産業機械の設計・製作の一貫生産ラインを確立し、1990年代には電子機器部品の製作・組立も行うようになりました。

—一貫生産体制により内製化を図られたということですね。

溶接や加工だけ、組立だけに特化した企業は他にもありますが、設計からの一貫生産となると東海地区の中小企業では片手で数えられるほど。お客様のニーズに柔軟にお応えするには、確かな品質だけでなく、より短納期でコスト的にも優位性の持てる

一貫生産のメリットが大きいのです。各部門が連携し一貫生産で高効率化を実現できたことは、弊社の大きな強みとなっています。

—2000年代に入ると、中国・タイと続けて海外拠点を設立されています。

2004年に中国、約10年後にタイに製造拠点を設けました。大型構造物の加工には広大なエリアが必要で、本社周辺ではこれ以上の拡張が望めないということもありましたが、お客様の海外事業活動の広がり、現地調達率を高めていく機運のなかで、生産能力の強化を図り安定供給を可能にする体制を整えたいという狙いもありました。またタイの拠点においては、長年培ってきたロボットSIのノウハウを活かした自動化にも取り組んでおり、今後は国内展開も視野に入れています。

機械加工への着手、一貫生産体制の確立、そして海外拠点設立、この3つが今日までの大きなターニングポイント。オイルショックやバブル崩壊など困難な状況もありましたが、いずれも世の中が変わるといってお客様にご縁をいただき、時代の変化に遅れず対応できたことで今に至るのではないかと思います。

—変化の流れを掴み、ピンチを乗り越えてこられた秘訣は、どんなところにあるとお考えでしょうか。

寄せられるニーズに応え、確実に業務をこなし、お客様の信頼を得てきたという実績ではないでしょうか。もちろん厳しい時期もありました。オイルショックのときには仕事量は1/5ほどになったと聞いていますし、特にITバブル崩壊のときには本当に厳

ものづくりに、時代の変化に 「柔軟に」取り組んでいきたい



▲大型鋼構造品加工の一例、大口径のシールドマシン



▲ロボットSIのノウハウを活かして自動化を推進

しい状況で、時短操業をしたり勉強会を開いたり、皆でできることを精一杯行って乗りきりました。経営者はもちろん、従業員も一体となって「過去にも乗り越えられたのだから、今回も」と、前向きに対応していこうという気持ちでいてくれることがありがたい。物事に柔軟に取り組む姿勢を大切にしてきた結果だと思えますし、今後もそうでありたいと考えています。



積極的に技術革新に着手 課題を解決し ものづくりの環境を改善

—物事に「柔軟に取り組む姿勢」といえば、近年では社内DXの推進にも注力されています。

働き方改革、脱炭素社会への取り組みなど、社会的な責任として実行するべきことは増えていきますが、本業のものづくりを疎かにするわけにもいきません。そこでIoTを活用し、品質・効率改善に努めようというわけです。例えば、2022年には製造現場に数十台のタブレット端末を導入。作業工程をデジタル化することで、品質・生産効率向上だけでなく、作業手順書などのペーパーレスにもつながっています。今まさに取り組もうとしているのが、「図面」のDX化。例えば図面を紙ではなくタブレットやモニターで表示すれば、拡大も容易でより見やすくなりますね。図面の3D化も進んでいますが、そのメリットは「わかりやすさ」。2Dの図面からできあがりの形状を把握するには高度な専門知識が必要ですが、3D図面ならおおよそのイメージができ、理解もスムーズです。また、若手従業員を中心にRPA化にも取り組み、効率化と人材の有効活用にも注力しています。取り組み始めて約一年半ほどですが、他部署への展開なども期待しているところです。DXの推進により、現場の課題が解決し、よりのづくりがしやすくなると考えています。

—DX推進によって改めてお気づきになったことはありますか。

世の中にパソコンというものが登場したとき、積極的に扱おうとしない方も一定数いらっしゃいました。興味を持って取り組んだ方では、デジタルとの親和性に差が出てしまっています。ですから、新しい技術についてもまず興味を持ち、品質向上・業務効率化のために取り入れていきたいと思っています。

しかし、意欲的に挑戦していきたい一方で、取り入れていくスタイルには柔軟性を持たせたいとも考えています。日本は超高齢化社会で70歳でも働きたい方は働こうという時代ですから、若手だけが対応できる業務・システムでは十分ではありません。従来のいいところは残しつつ、両方を上手に柔軟に使いこなしていくのが良いと思うのです。若手がベテランから技術やノウハウを引き継いでいこうように、DXでも若手とベテランとの交流が生まれることに期待しています。まずはスモールスタート、そして横展開し、誰にとってもより働きやすい職場にしていきたいと考えています。



▲製造現場で活用されているタブレット端末。IoTの活用により品質・効率向上を実現

柔軟な姿勢でバランス良く 社会への貢献を続けたい

—何をやるにも「柔軟さ」をもって臨むということが、御社の大切な指針なのではと感じました。最後に、今後の抱負についてお聞かせください。

弊社には、性別も年齢も国籍もさまざまな従業員がいます。ライフスタイルや家庭の事情など、個々の置かれている状況もさまざまですから、適性やタイミングを見極め、よりよい場所・方法で働くことが当たり前を実施できる体制を創っていきたくと考えています。ダイバーシティの実現も「柔軟さ」のひとつですね。こうした体制づくりには、業務の脱属人化とDX化が不可欠です。毎年スローガンを掲げているのですが、2022年度のスローガンがまさに「脱属人化&DX化」でした。掲げたからといってすぐに実現するわけではないのですが、スローガンとして意識して取り組むことで、数年後にはカタチとなる事例も多いと感じています。製造業の持つ古いイメージを払拭し、「ここでずっと働きたい」と言ってもらえるような企業にしていかなければなりません。

私は常々、「すべてにおいて80点を目指したい」と考えています。もちろんすべてにおいて満点なら言うことはないのですが(笑)、得意・不得意で大きな差を持つことなく、何事にも平均点以上でバランス良く対応することが、より多様なお客様のお役に立つことに繋がると思うからです。頑張ってくれている従業員はもちろん、お客様への感謝の気持ちを大切に、柔軟に業務に取り組む社会に貢献できる仕事をしたいと思っています。

企業プロフィール

株式会社東海機械製作所

設立以来、船舶機械など大型鋼構造品の溶接・機械加工を手掛ける。昭和62年には自社ブランド「U-tec」を立ち上げ、そのノウハウを活かして各種大型設備機械の設計から組立までの一貫生産体制を確立。



海外拠点においては、供給力強化をはじめロボットSIのノウハウを活かした自動化にも取り組み、品質・納期・コストでニーズに即応できる強みを持つ。近年では、製造現場においてDX化の推進に注力し、一層の品質・生産効率向上に努めている。

本社	〒444-3523 愛知県岡崎市藤川町宇北荒古32
TEL	0564-51-2793(代)
FAX	0564-54-0619
代表者	近藤 盛仁
設立	昭和28年
資本金	5,000万円
事業内容	電子機器関連部品・ユニットの受注・製作、油圧機械並びに周辺機器の設計・製作、大型産業機械の受注・製作、各種大型部品の溶接・精密機械加工 ほか
URL	http://www.tokaikikai.co.jp

企業沿革

昭和22年	溶接修理業の東海溶接工業所を創立
昭和28年	株式会社東海機械製作所設立
昭和39年	工場を現在地岡崎市藤川町へ移転
昭和56年	関連会社株式会社ユーテック設立
昭和62年	「U-tec」シリーズ発表
昭和63年	一貫生産ラインを確立
平成16年	中国・大連に大連東海機械技術有限公司設立 タイ・バンコクにTHAI TOKAI U-TEC Co., Ltd.設立
平成24年	タイ・アマタシティーにTOKAI KIKAI Utec(Thailand)CO., LTD.設立
令和3・4年	健康経営優良法人に認定



左から美合支店時森係長、美合支店天野支店長、近藤代表取締役社長



「西尾歴史愛好会」の皆さんが解説!

今回お話を聞いたのは、西尾市の歴史ならおまかせ!な「西尾歴史愛好会」の皆さん。現在は14名のメンバーで、年に1回の歴史講演会をはじめ、月1回の定例会では、活発な意見交換をしたり、遺跡を散策したりと、積極的に西尾市の魅力を発信しています。

「『研究会』ではなく『愛好会』としているのには、真面目になりすぎず楽しみながら活動してほしいという思いが込められています。それぞれが持ち寄った情報を共有しては歴史談義に花を咲かせていますよ」と語るのは、会の代表を務める天野初男さん。西尾市と家康の関係は深く、戦の舞台となった場所や、趣味の鷹狩りに興じた場所など、各所に逸話が残されているそうです。それでは、早速行ってみましょう!

どうする家康

で注目のエリア!愛知県西三河で家康ゆかりのスポットめぐり

2023年1月8日から放送のNHK大河ドラマ「どうする家康」。
 有名な戦国武将・徳川家康の一生を描いた話題作です。
 家康と愛知県は切っても切れない関係であるというのはあまりにも有名ですが、
 愛知県西三河エリアにもゆかりの深い場所が
 多く存在しているって知っていましたか?
 実は、あの主演俳優もロケですでに何度か訪れているそうですよ!
 今回は、前回の「安城市・刈谷市・碧南市」編に続いて愛知県西尾市に注目。
 地元を愛してやまない「西尾歴史愛好会」の皆さんによる特別解説を添えて
 「知られざる家康スポット」をご紹介します!

三英傑のリゾート地!「西尾城跡」

1221年に起こった承久の乱の功績により、足利尊氏が築城したとされている「西尾城」。戦国時代、桶狭間の戦いで今川義元が織田信長によって破られると、家康は家臣の酒井正親を城主にし、その後は松平氏や本多氏などの徳川譜代大名が代わる代わる城主を務めました。
 この「西尾城」周辺には大きな河川が流れていたことから、下流の湿地帯には豊かな野鳥が多く生息していたそうです。この地で織田信長や豊臣秀吉、徳川家康の三英傑が相次いで鷹狩りを楽しんだという記録が残っています。

特に家康は、その生涯で1000回以上も鷹狩りを楽しんだのだとか。大量の獲物を獲ることは天皇への謁見の口実にもなったそうで、戦国の世を生きる武将たちにとって貴重なレクリエーションだったことが伺えます。

▶西尾市錦城町231-1



勢いづいた家康により攻められた「東条城跡」

桶狭間の戦いのあと、今川方から独立して三河平定に乗り出した家康。西尾城を攻略したあとに攻めたのが「東条城」です。東条城には、城主の吉良義昭が立てこもっていましたが、家康の家臣である酒井正親らによって攻め込まれ、降伏。東条城は家康の手中に収められたそうです。

その後、三河一向一揆の際に義昭は再度立てこもりを試み、家康に対峙しますが、家康の勢いに負けて近江や摂津に落ち延び、その後は織田信長によって討ち死にしています。義昭がいなくなったあとの東条城には家臣の松平家忠が城主として入り、三河平定のための大きな一歩となりました。

▶西尾市吉良町駸馬城山45



武運の神様「瀬門神社」でお参りを

家康が東条城に攻め入る際に戦勝祈願をしたとされるのが「瀬門神社」です。武運の神様として有名で、秋には飾り馬が馬場を駆け巡る駆け馬神事も行われ、地元の人も知る人ぞ知るスポット。大事な勝負事が控えている人は、ぜひお参りを!家康にあやかって、ご利益があるかもしれません。

▶西尾市吉良町瀬戸字宮西1



三河一向一揆で一揆側の中心となった「無量寿寺」



家康の家臣が寺の兵糧米を徴収したことが発端となり、一向宗の寺院を相手に争った「三河一向一揆」。家康とは主従関係にある家臣たちが、自身の信仰との間で揺れ動きながらも、敵・味方にわかれて約半年間続いた戦いです。この時、一揆側の中心となったのが「無量寿寺」でした。当時の一向宗の寺院は大名に匹敵するほどの勢力があったと言われており、「三方ヶ原の戦い」「伊賀越え」と並んで「家康の三大試練」とも言われています。寺内には鼓楼が残されており、戦の名残を感じることができます。心身ともに苦しめられた家康に、思いを馳せてみては?

▶西尾市平坂町奥背戸31

家康により改名された「康全寺」

西尾城の近くにある「康全寺」は、家康が宿泊したという逸話が残されています。もともとは「吉良山満全寺」という名前でしたが、家康の名前から一字を賜って「西尾山康全寺」と改めたのだそうです。また、門扉などには徳川の家紋である「三つ葉葵の紋」があらわれているのだとか。寺の名前を変えたり、紋を入れたりできたのですから、家康の人気ぶりが名実ともに高かったことが伺えますね！

▶西尾市満全町36



家康の大伯母・矢田姫が眠る「養寿寺」

「養寿寺」には、家康の大伯母「矢田姫」が眠る墓があります。その縁あって、家康は1602年に36石もの領地を受けました。他にも、家康の初陣の様子を表した木造の像や、家康自筆の書なども保管されており、家康にとってゆかりのある場所です。

また、毎年3月の最終日曜日には「矢田のおかげん」といって、読経に合わせて雅楽の奉納が行われる風習が江戸時代から続いています。現在は、たくさんのお店で賑わう「寺マルシェ」としてより多くの人に親しまれているので、気軽に訪れてみてくださいね。

▶西尾市下矢田町郷2



家康と切っても切れない今川氏の発祥の地

家康にとって深い関わりがある今川家。幼少期には「人質」、桶狭間の戦いのころには「主従」の関係にありました。家康と名乗る前の「松平元康」という名前にも、今川義元の「元」が入っていますし、家康の最初の妻である瀬名姫は、主君・今川義元の姪でもあります。そんな今川氏が誕生したのがこの場所です。現在ではその発祥にちなんで「今川町」という名前が残っています。家康の幼少期を考えるうえでは欠かせないスポットです。

▶西尾市今川町土井堀17



まだある！家康ゆかりのスポット「養国寺」「福泉寺」

他にも、家康によって「養穀寺」から名前を変えたという「養国寺」には、江戸時代に描かれた家康の絵が安置されていたり、家康が鷹狩りを楽しむための本陣にしていたという「福泉寺」には、家康が腰掛けたと伝えられている石台があったりと、見どころもたくさん。行く先々で家康の名残を感じてみましょう。

▶養国寺：西尾市寺津町東市場48

▶福泉寺：西尾市吉良町上横須賀八王子31



今川義元の首が吊われた「東向寺」

1560年の桶狭間の戦いで敗れた今川義元。その首は清洲城近くに晒されたと言われています。今川の家臣である岡部元信は主君亡きあとも抵抗を続けましたが、信長に城を明け渡す代わりに義元の首を返すよう交渉しました。岡部の主君に対する思いに心を打たれた信長は、条件を飲んで首を差し出しました。

やがて首は今川方の身内が住職を務める「東向寺」に持ち込まれ、梅雨が来て傷んでしまう前に丁重に吊られたそうです。今川氏への忠義あふれるエピソードがわかる、貴重な場所ですね。

▶西尾市駒場町榎木島115



家康の父・広忠がかくまわれた「室城趾」

話は家康が生まれる以前に遡ります。岡崎城主だった松平清康が家臣に暗殺されたことで、嫡男だった広忠(のちに家康の父)は城を追われることに。なんとか逃げ延びた広忠は、東条城主の吉良持広に保護され、東条吉良氏の家臣が城主の「室城」にかくまわれてもらったのだそうです。このときに保護されていなければ、家康は生まれていなかったかも?と思うと、感慨深い出来事ですね。

現在は「室城趾」として石碑を残すだけになっていますが、熱心な家康ファンや松平の末裔とされる人々が、この場所を見に遠方からも訪れているそうです。

▶西尾市室町上屋敷89-89



「西尾歴史散策MAP」を手に史跡をめぐる!

今回取材にご協力いただいた「西尾歴史愛好会」の皆さんが監修し、西尾市の観光協会が発行している「西尾歴史散策MAP」を手に、家康ゆかりの場所をめぐってみませんか?このマップは、掲載されている寺院や道の駅、資料館や観光施設で配布されているほか、観光協会のHPからでも印刷できます。関連スポットが一目でわかる市内の地図のほか、「矢作川」と「弓取川」の秘密、家康と西尾の関わりを示す年表など、知るほどに興味が出てくる情報が盛りだくさん。ぜひお出かけしてみてくださいね!

※本記事は、株式会社キャッチネットワークが発信する「近所のはなし」を転載したものです。無断で複写・転載することは禁じられています。



「西尾歴史散策MAP」デジタル版パンフレット



広告



こちらからアクセス

ケーブルテレビのキャッチネットワークが運営する Web コンテンツ
西三河のドローカルなトレンド情報を発信中!
<https://www.katch.co.jp/community/kinjo/>

WebでPR はじめませんか?

今なら取材・撮影・記事掲載
33,000円(税込)/記事1本〜
お気軽にお問い合わせください



株式会社 キャッチネットワーク
〒448-0803 刈谷市野田町大ヒゴ1番地

お問い合わせ

0120-2-39391
<https://www.katch.co.jp> (電話受付時間 9:00~19:00)

電気に関する「あったらいいな」を提案、中古エアコン市場を開拓

会社概要

当社は、2002年に電気設備工事業「有限会社河口電機」として創業。当時参加した経営者の勉強会でもらったヒントを基に、自身の「明るく・元気・大きな声」という強みを経営に生かしていくという思いを込め、2010年に株式会社化とともに現社名の「元気でんき株式会社」へ変更し、等身大の親しみやすさを表現した。

AIを使った販売管理や、ITを活用した社内システムなどを導入し、職人の勤に頼らない基準の見える化や効率化を行うなど、職人気質な業界の中で、革新的に取り組んでいる。

代表の本名は清一。「エレキテル」の名前には、小さなころから電気機械に親しんできた自分自身と、これから電気屋として生きていく決意を示している。



代表取締役 河口 エレキテル 氏

チャレンジの経緯

「中古エアコンないの?」と、少しでもエアコン費用を安くしたいお客様から幾度となく現場で尋ねられた。調べてみると、エアコン市場は約1兆円と言われているが、中古エアコンの取り扱いは市場規模と比較して皆無と言っていいほど小さなものだった。エアコンは、取り付け・取り外し技術が必要であり、また、リサイクルショップ等では整備ができないため取り扱いが難しい。家電量販店では新品のものしかなく、どこも中古エアコンを置いていなかった。「ならば自ら中古エアコン市場を作ろう」と、中古エアコンの買取販売事業をスタートさせた。

この市場に挑戦した業者はあったが、全国展開までは拡大されていなかった。「あったらいいな」に応えたい、という信念で中古エアコン事業日本一までに成長した。



中古エアコンを取り扱う上で避けては通れない不良が起るリスク。そのリスクを抑えるため徹底した整備・洗浄を行う。

電気設備工事業界の課題に挑む

AI・ロボット・IoT化が進んでいるが、そもそも電気設備がなければ機能せず、電気設備工事業の需要は年々増加している。しかし、職人の高齢化が進み、人手不足は深刻な問題に。師匠に弟子入りし、見て、真似て、という教育方法では、得難い経験はあるものの技術習得に時間がかかってしまう。そこで、業界未経験者が短期で技術習得できる「でんきの学校」を名古屋・埼玉・大阪に開校。そこで学んだ技能取得者へ業務を委託するなど、その後の仕事へも繋げている。

「これがあつたら喜ばれるはず」ではなく「あったらいいな」という世の中のニーズをくみ取り、その声に応えていきたいと意気込む。



電気工事は、工事業ではなくサービス業と捉え、技術習得のみならず接客についても学ぶ。



元気でんき株式会社

事業内容：電気設備工事業
中古エアコン買取販売
従業員：49名
住所：名古屋市中川区太平通2-9
TEL：052-369-0801
URL：https://www.genki-denki.co.jp



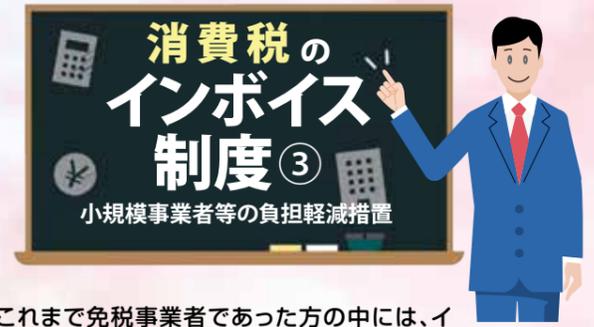
ホームページはこちら

支店担当者より

一回見たら忘れられない、すごくインパクトのある社名と社長の名前。事業もすごく魅力的な会社ですので、ぜひ会社のホームページをみてください。一目で興味をそそられます。

お役立ちコラム

知っておきたい税情報



本年10月1日から消費税の「インボイス制度」が始まります。これまで免税事業者であった方の中には、インボイス発行事業者の登録をして新たに課税事業者となる方も多いと思いますが、一方で、税負担や事務負担が心配で、インボイス登録をするかどうかの判断を決めかねている事業者もいると思います。

このようなインボイス制度により影響を受ける小規模事業者等の税負担や事務負担を軽減するため、令和5年度の税制改正において様々な措置が講じられていますので、今回はこの点について解説します。

山本康裕税理士事務所 税理士 山本康裕

1 免税事業者に対する税負担の軽減措置(「2割特例」)

免税事業者がインボイス発行事業者を選択した場合の税負担の軽減を図るため、制度の開始から3年間、消費税の納税額を売上に係る消費税の2割とすることができる特例(「2割特例」)が創設されました。

2割特例は、事業者の事業区分や実際の経費の多寡に関係なく、一律に80%の仕入税額控除を認めるもので、次の事例のように、多くの場合、税負担を軽減することができます。

【事例】課税売上700万円(税額70万円) 課税仕入150万円(税額15万円)

業種区分…サービス業(簡易課税による みなし仕入率50%)

課税方法	消費税納税額	各課税方法のポイント
本則課税	55万円 (70万円-15万円)	取引の課税区分、税区分の判定のほか、課税仕入に係るインボイスや帳簿の保存が必要。ただし、課税仕入が課税売上より多い場合は、消費税の還付を受けることが可能。
簡易課税	35万円 (70万円-35万円※) ※70万円×50%(みなし仕入率)	事業者の事業区分によるみなし仕入率(40%~90%)を乗じて仕入税額控除を算出する方法。簡易課税選択届出書の提出が必要で、選択した場合は2年間継続適用する必要あり。卸売業(みなし仕入率90%)の場合は、2割特例より有利。
2割特例	14万円 (70万円×20%)	売上に係る消費税の2割を納付税額とするもので、計算が簡単。インボイス発行事業者の登録をしなければ免税事業者のままであった者が対象。事前の届出書不要で申告書にその旨を付記するだけで適用可能。ただし3年間の時限措置。

2割特例を適用するかどうかは、確定申告書にその旨を付記するだけでよく、簡易課税のような届出書の提出や2年間の継続適用の縛りはありません。

事業者としては、確定申告時において2割特例か本則課税(簡易課税選択届出書の提出がある場合は簡易課税)の選択をすればよく、大変使い勝手のよい制度といえます。

2 中小事業者等に対する事務負担の軽減措置

インボイス制度への円滑な移行とその定着を図る観点から、基準期間(2年前)の課税売上高が1億円以下の中小事業者等については、インボイス制度の開始から6年間、1万円未満の課税仕入について、インボイスの保存が無くても帳簿の保存のみで仕入税額控除ができることになりました。

3 少額な返還インボイスの交付義務の免除(すべての事業者に適用)

返品や値引き等を行った場合、これまでは返還インボイスの交付義務が課されていました。今回の改正で、1万円未満の値引等については、事業者の事務負担を考慮し、返還インボイスの交付義務が免除されることになりました。

4 登録申請手続の柔軟化

本年10月1日からインボイス発行事業者の登録を受けるためには、原則として、令和5年3月31日までに登録申請が必要とされていましたが、今回の改正で、4月以降の登録申請でもOKになりました。ただし、インボイス制度への対応には様々な事前準備が必要となるため、登録をお決めの方は早めの申請をおすすめします。



～ 地域の宝物を探しにお出かけしませんか ～

東海4県の信用金庫では地域活性化に貢献するため、東海「地域の宝物」ガイドを作成しました。
地域の魅力を再発見する旅にご活用ください。

地元しんきんが推薦する
東海「地域の宝物」ガイド



For your eyes only
Our Treasure
東海4県の地元を熟知した信用金庫が推薦する、知名度は必ずしも高くなくてもキラリと光る「地域の宝物」ともいえるべき優れたコンテンツを紹介するサイトです。



静岡県
掛川城
静岡県掛川市掛川1138-24
戦国時代山内一豊が築城した天守閣を中心に、城下町の雰囲気を楽しむことが...



三重県
伊勢志摩スカイライン
三重県伊勢市新堀町185-3
360°の大パノラマが広がる「絶い空」として、朝陽山の東頂上に建ち...



愛知県
香嵐溪
愛知県豊田市足助町
矢作川支流巴川がつくる深谷、香嵐溪（こらんげい）は、紅葉やカタクリの花...



岐阜県
根尾谷薄墨桜
岐阜県本巣市根尾布子字上段995 淡墨公園内
淡墨桜（うすずみくら）とは岐阜県本巣市の淡墨公園にある樹齢1500年以...

東海4県の信用金庫が
宝探しの旅をご提案!
<https://tokai.shinkin-takaramono.com>

碧海信用金庫は、地域金融機関としてSDGsの取り組みを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献します。

当金庫が推薦した寄附対象事業に対し
信金中央金庫から安城市へ寄附

当金庫は、信金中央金庫が実施する「SCBふるさと応援団※」に安城市公民連携推進事業を推薦し、信金中央金庫から安城市へ1,000万円が寄附されました。（※「SCBふるさと応援団」とは、企業版ふるさと納税を活用する地方創生推進スキームで、地元信用金庫とともに地域課題の解決に取り組む自治体の事業を応援するものです。）



非常用食料品を碧海5市に提供

フードロス対応および地域貢献の観点から、当金庫が各店舗で備蓄している非常用食料品の一部を碧海5市（安城市・知立市・刈谷市・高浜市・碧南市）に提供しました。提供品は、各自治体で活用されました。



「知立市SDGsアイデアコンテスト」に協賛

当金庫は、3月12日に知立市との連携事業として開催されたコンテストに協賛し、審査員も務めました。コンテストでは、知立市のSDGs推進につながるアイデアを、地域の大学や高等学校の学生がプレゼンテーション形式で発表しました。



あいちアール・ブリュット×アティックアート
連携事業に協力

愛知県障害者芸術活動参加促進事業に協力し、本年度も障がい者の方が描いた作品をデザイン化した「ボックスティッシュ」と「封筒」を作成しました。
また、2月13日～3月5日の期間、作成したグッズや原画を展示する「まちなかギャラリー」をローンプラザ安城・豊田寿町支店・御園支店で開催しました。



特殊詐欺防止イベントに職員が一日警察官として参加

年金支給日である2月15日、安城警察署の特殊詐欺防止イベントに本店の職員2名が一日警察官を委嘱され参加しました。本店のATMコーナーやJR安城駅で、署員とチラシ等を手渡ししながら被害防止を呼びかけました。



SDGs寄贈型私募債「パートナーブリッジ」の
寄贈品を贈呈

私募債を発行するお客さまから受け取る手数料の一部で寄贈品を購入し、お客さまが指定された教育機関や医療機関、公共的な活動を行う団体等に寄贈を行っています。

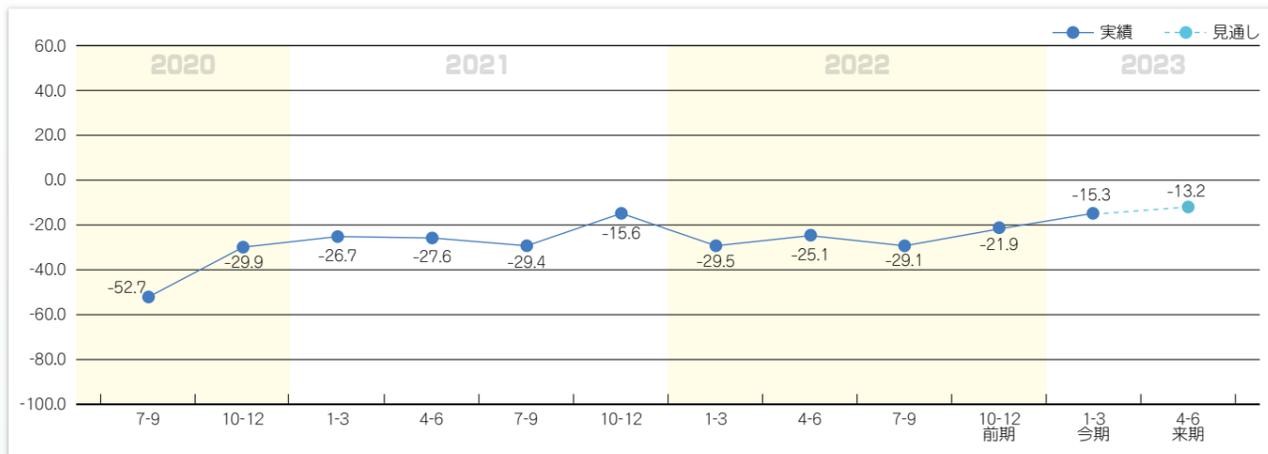


全業種

回答数326社

今期の業況D-Iは、前期比6.6ポイント上昇の▲15.3と、2期連続で改善。業種別では、製造業、卸売業が大幅に改善した。一方で、小売業、サービス業は悪化した。来期の予想業況D-Iは、2.1ポイント上昇の▲13.2。改善の見通しではあるが、依然マイナス域であり、厳しい見方の企業が多いことがうかがえる。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

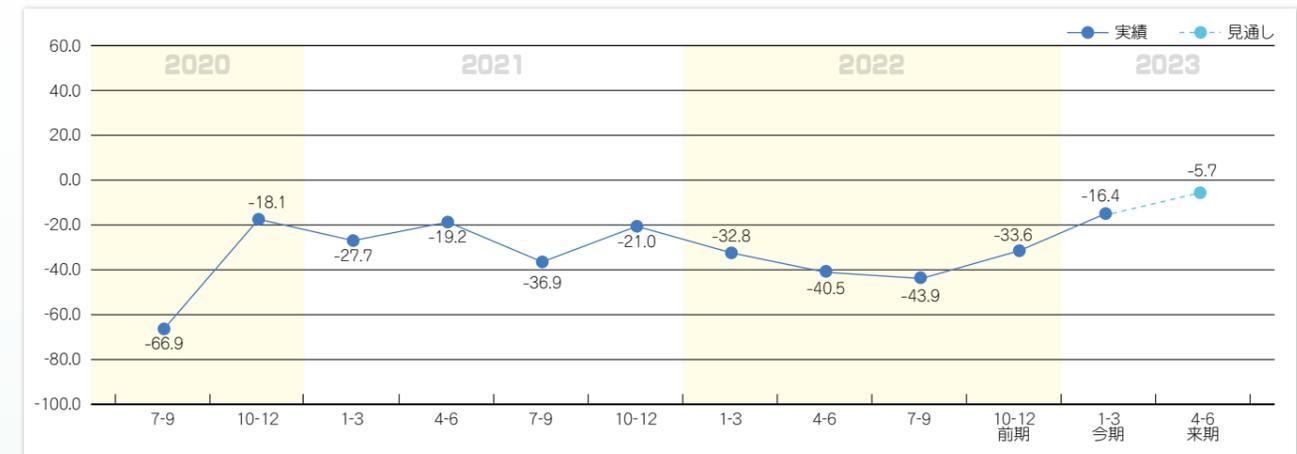


製造業

回答数122社

今期の業況D-Iは、前期比17.2ポイント上昇の▲16.4と、2期連続で改善。受注が回復傾向にあるとの声が多く、売上、収益とも順調に推移。一方で、コスト上昇の対応に苦慮する企業も見られる。来期の予想業況D-Iは10.7ポイント上昇の▲5.7と、さらに改善の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



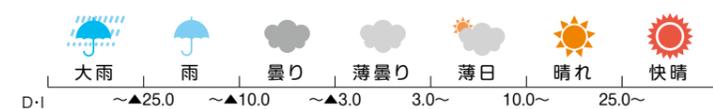
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測（景況）を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

実施時期 2023年3月1日～7日
対象企業 326社
対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方



D-I(デフュージョン・インデックス)とは…業況(業界の景気)等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉-〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

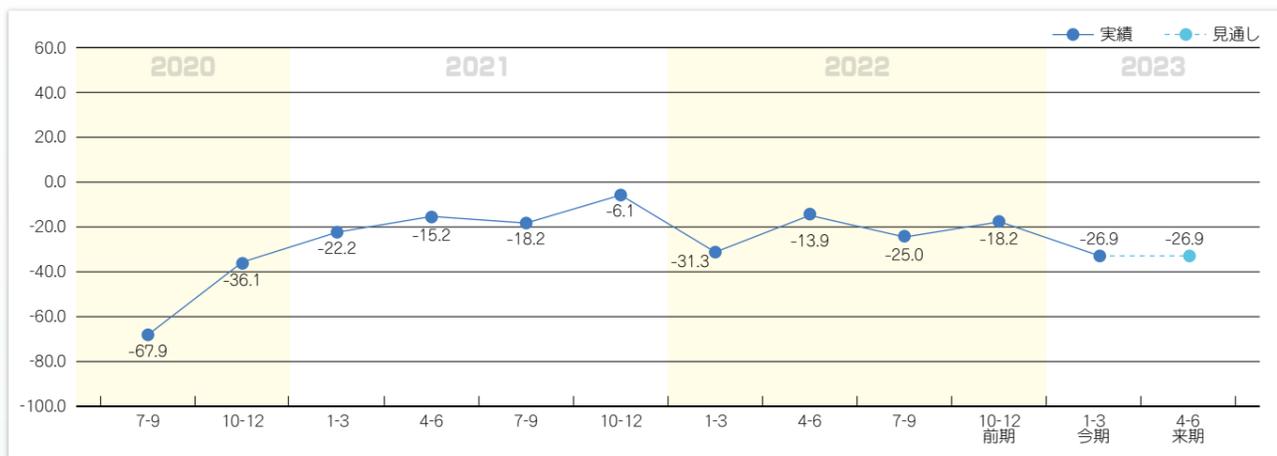
調査員のコメント



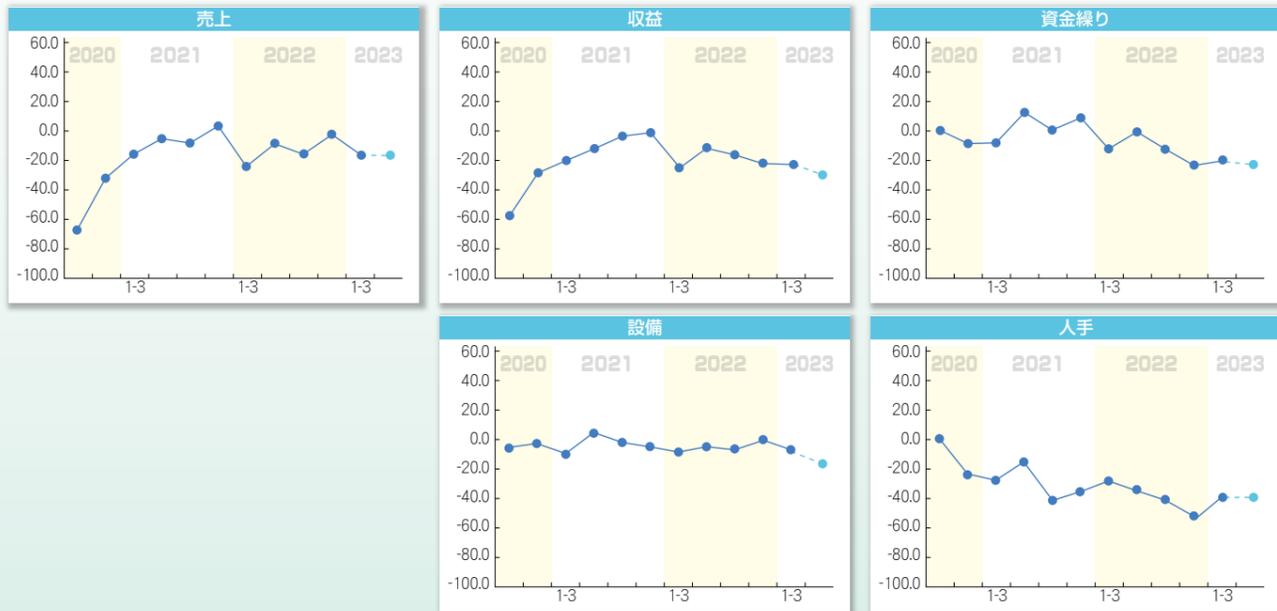
- 主要取引先からの受注増加に伴い売上は回復傾向にある。補助金を利用した新たな設備投資やIT化等、様々な取り組みをしている。(機械製造)
- コロナが落ち着いてきたことや展示会の開催等により、前期に比べ売上が増加した。(繊維製造)
- 原材料費が高騰している。値上げ交渉に苦戦中。(窯業)

サービス業 回答数26社

今期の業況D-Iは、前期比8.7ポイント低下の▲26.9と、悪化。コロナ禍の影響は落ち着きつつあるものの、物価高騰による影響が大きく、収益の悪化が続いている。来期の予想業況D-Iは横ばいの▲26.9と、来期も厳しい状況が続くことが見込まれる。



主要D-Iの推移 (注)設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



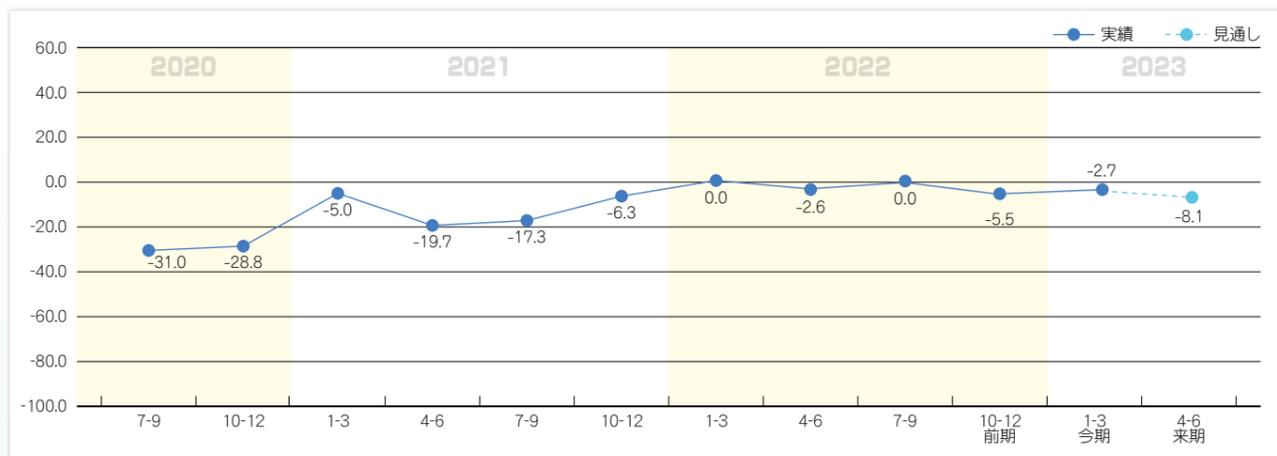
調査員のコメント



- 現在も物価高騰の影響があり利益確保が困難。客足は回復しつつあり、回転数を上げるために従業員の育成に努めている。(理美容院)
- 燃料コスト高騰の影響を受けている。また、昇給による人件費増加の影響を懸念。(クリーニング店)
- YouTubeチャンネルを運営中。取引先の紹介動画を作成することで、より地域に根差した取り組みを行っている。(税理士)

建設・不動産業 回答数74社

今期の業況D-Iは、前期比2.8ポイント上昇の▲2.7となり、若干改善。資材や地価高騰の影響はあるものの、価格転嫁等により収益を確保できている企業が多い。来期の予想業況D-Iは5.4ポイント低下の▲8.1と悪化の見通し。依然として先行き不透明感は払拭されていない。



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



調査員のコメント



- 住宅価格が数年前とは比べものにならないくらい高騰している。それにとまない仲介手数料は増加傾向。(不動産仲介)
- 資材価格高騰が続いているが、なんとか価格転嫁できており、利益は確保できている。(建売業)
- モデルハウスの順調な展開等により、受注が確保できている。(住宅建築)

地域の“今”と“これから”
西尾市歴史公園



西尾市歴史公園は、江戸時代に西尾藩六万石の城であった西尾城の一部を再建・復元した公園です。園内では、本丸丑寅櫓(ほんまるうしとらやぐら)や二の丸の表門である鑰石門(ちゅうじゃくもん)、数寄屋風邸宅の旧近衛邸、京風庭園が美しい尚古荘(しょうこそう)などを見学することができます。また、一角には西尾城時代の資料が展示された西尾市資料館もあります。

西尾市は日本有数の抹茶の生産地です。また、西尾市と安城市で生産される「西尾の抹茶」は、特許庁の地域ブランドに認定されています。旧近衛邸では、庭園を眺めながら西尾の抹茶を楽しむことができます。



愛知県安城市御幸本町15番1号
(vol.58 2023年4月発行)